

議案第36号

老神温泉街における河岸崩落への具体的対応を求める緊急要望書案について

沼田市議会会議規則第13条第2項の規定により、上記議案を別紙のとおり提出します。

令和5年3月15日提出

沼田市議会議長 久保健二様

提出者 議会運営委員会 委員長 星野佐善太

賛成者 同 副委員長 野村洋一

同 委員 高山敏也

同 同 永井敏博

同 同 茂木清七

同 同 中村浩二

同 同 井上弘

同 同 大東宣之

老神温泉街における河岸崩落への具体的対応を求める緊急要望書（案）

沼田市は、群馬県北部に位置し、赤城山や武尊山など日本百名山に挙げられる山々に四方を囲まれた、豊かな自然を有する地方都市であります。老神温泉街は、尾瀬方面より流れ来る片品川の流れにより形成された、切り立った溪谷の両岸に立地しております。

昨年秋頃、温泉街中心部の休業中の宿泊施設の真下の河岸に、大きな落盤が確認されました。最近では雪解けの影響もあり、周辺に音が響きわたるほどの再度の大規模な崩落が確認されています。

このままではさらに崩れ、基礎の一部が宙に浮き一部の基礎杭までもが露わとなった当該施設が、片品川に倒壊することは時間の問題であるとともに、さらに隣接する営業中の宿泊施設にも影響が及ぶ可能性も高いため、事態は一刻を争うものと考えます。

こうしたことに危機感を持った地域住民等からの要請に基づき、市内外より関係者が赴き現状を確認するとともに、その対応や解決策について協議が行われましたが、所有権や法的な問題、多額な財政負担といった課題があり、解決策が見いだせない状況となっております。

沼田市単独による解決は困難との結論に至り、国土の保全、住民や観光客の安全確保、観光地の新型コロナウイルス感染症からの復興などが急務であることから、本日ここに以下の要望を提出し、その解決を切に願うものであります。

記

- 1 崩落の危険性の高い箇所危険度測定とともに、速やかに安全対策を実施していただきたい。

令和5年 月 日

国土交通大臣 様
群馬県知事

沼田市議会議員 久保 健二